

# 栗原の稲作通信

令和2年第2号 令和2年6月12日発行

宮城県栗原農業改良普及センター

宮城県米づくり推進栗原地方本部

電話番号 0228-22-9404

6月上旬の高温により生育は回復傾向です。/いもち病の原因となる残苗を処分しましょう

## 気象経過（過去5か年との比較）

- 5月中下旬は低温寡照傾向で推移しましたが、6月に入り、気温はかなり高く、日照時間もかなり多く推移しています。東北南部は6月11日ごろ梅雨入り（平年より1日早い）したと見られます。

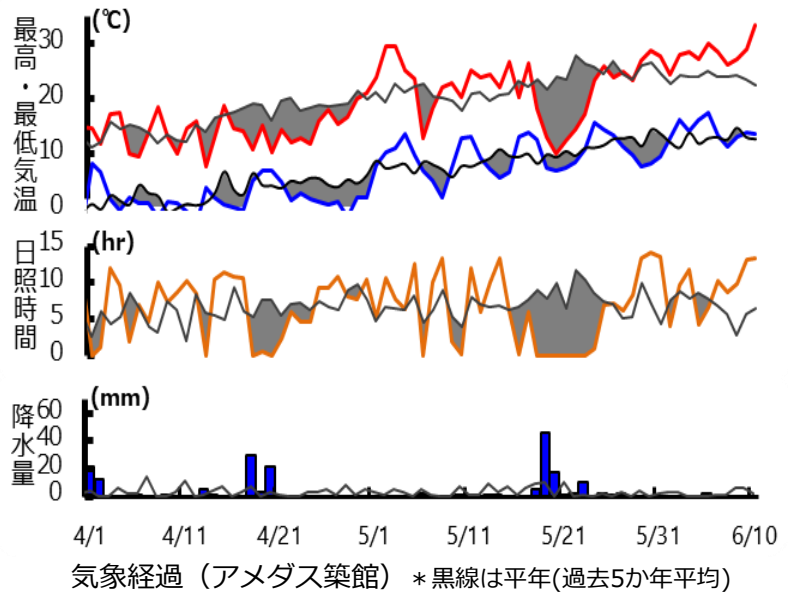
東北地方1か月予報 期間：6/13~7/12  
令和2年6月11日仙台管区气象台発表抜粋

### 特に注意を要する事項

1週目は気温がかなり高くなる見込み。2週目は気温がかなり低く、気温の変動が大きい。

### 予想される向こう1か月の天候

平年比ベ曇りや雨の日が多い見込み  
平均気温：平年より高い確率50%  
日照時間：平年並の確率40%  
降水量：平年並の確率40%



## 生育経過（6月10日現在）

### ■生育調査ほ（移植）

- 平年（過去5か年）と比べて、前回調査(6/1)では『8日程度遅れ』となっていたのですが、6月に入ってから気温が高い日が続いたことにより『2日程度遅れ』まで短縮しました。
- 田植日が平年並～早いほ場では、茎数が平年並～上回っています。
- 田植日が平年より遅いほ場では、茎数が平年をかなり下回っています。最近では生育が早まり、茎数が増え過ぎる傾向が続いてきました。現在の生育状況が、収量・品質に悪影響を与えることはありません。

## 生育調査ほ調査結果（6月10日現在）

品 種	地 区	田植日			草丈(cm)			茎数(本/m <sup>2</sup> )			葉数(枚)			葉色(GM値)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
ひとめぼれ	築館 太田	5/6	2日遅	1日遅	30	81	89	248	59	75	7.9	-0.7	-0.2	42.2	-0.6	0.5
ひとめぼれ	若柳 大林	5/20	2日早	1日遅	28	105	98	192	71	74	6.6	-0.4	-0.4	39.3	0.9	0.7
ひとめぼれ	一迫 中屋敷	5/13	6日遅	4日遅	25	89	89	127	44	56	7.2	-0.2	-0.3	38.0	0.3	-0.3
ひとめぼれ	平均	5/13	2日遅	2日遅	28	90	92	189	58	69	7.2	-0.5	-0.3	39.8	0.2	0.3
つや姫	築館 留場	5/23	同日	4日遅	27	85	90	119	89	87	6.1	0.0	-0.4	33.0	-1.8	-3.0
だて正夢	築館 留場	5/21	10日遅	-	27	83	-	129	38	-	5.7	-1.9	-	38.2	-3.9	-
萌えみのり	金成 新桜町	5/9	1日早	4日早	27	87	91	158	74	107	7.6	0.7	0.7	42.0	-4.9	-0.6

注) 平年値は過去5年平均値とする

### ■直播展示ほ

- 5月中下旬の低温の影響で、草丈、茎数及び葉色は前年を下回っていますが、収量・品質に悪影響を与えることはありません。

直播展示ほ調査結果（6月10日現在） \*べんモリ湛水直播（点播）

品 種	地 区	播種日		草丈(cm)		茎数(本/m <sup>2</sup> )		葉数(枚)	
		本年	前年差	本年	前年比(%)	本年	前年比(%)	本年	前年差
萌えみのり	志波姫北伊豆野	5月8日	5日早	13	64	105	56	3.9	-0.3

## 今後の管理

### ■水管理

- ・中干しまでは間断かん水が基本ですが、移植が遅い場合や直播栽培などの茎数が少ないほ場では、浅水管理（水深2～3cm）により分けつの発生を促しましょう。
  - ・中干しは、有効茎数が確保されたら行いましょう。
  - ・5月上旬に田植を行ったほ場はまもなく有効茎数が確保される見込みですので、ほ場で茎数を数えて、適期に中干しを行いましょう。
- ※有機物を多用している場合は、硫化水素などのイネに有害なガスが発生しやすいので、溝きりや落水によりガス抜きを行いましょう。

#### 有効茎数

ひとめぼれ	410～460 本/m <sup>2</sup>
ササニシキ	480～510 本/m <sup>2</sup>
つや姫	400～440 本/m <sup>2</sup>
だて正夢	350～400 本/m <sup>2</sup>

#### ★★★だて正夢栽培のツボ★★★

だて正夢は、分けつしにくく穂数が少なくなりやすい特徴があります。ほ場で茎数を確認し、幼穂形成期に茎数が390～460本/m<sup>2</sup>になるように、中干し等の水管理を行いましょう。

### ■病害虫防除

#### ▷葉いもち

- ・残苗はいもち病の発生源となりますので、速やかに処分しましょう。
- ・箱施用剤による予防防除を行っていない場合は、各種水面施用剤を防除適期に散布しましょう。

#### ◆◆◆萌えみのりのいもち病対策◆◆◆

萌えみのりのいもち病抵抗性はひとめぼれ並ですが、多肥栽培により葉色が濃く推移しやすいので、ひとめぼれよりいもち病にかかりやすくなります。

田植え時に箱施用剤による予防防除を行っていないほ場では、本田で予防防除を実施しましょう。

#### ▷斑点米カメムシ類

- ・畦畔や農道、雑草地、休耕田等のイネ科雑草は、斑点米カメムシ類の増殖源となります。計画的な草刈りを行い、カメムシ類の増殖を抑えましょう。

\*管内ではアカスジカスミカメの越冬世代の大半は6月中旬までに成虫となり、水田周辺のイネ科雑草に定着するとみられます。

- ・ノビエ、イヌホタルイ、シズイなどの雑草により、斑点米の原因となるアカスジカスミカメが水田内で増殖して被害が助長されます。残草が目立つ場合は、中期・後期除草剤等により追加防除を実施しましょう。

\*JA新みやぎ栗っこ環境保全米では指定の初中期一発剤のみ使用可能です。

\*JA新みやぎ栗っこほっちゃり米(マニュアル米)では中・後期剤は使用できますが、剤の指定がありますので、JAに御確認願います。

.....  
農薬危害防止運動実施中 6月1日～8月31日まで

農薬の使用に当たっては、必ずラベルに記載された適用病害虫、使用方法、最終有効年限などを確認して、定められた方法を厳守しましょう。

最新の農薬登録情報は、(独)農林水産消費安全技術センターのホームページで確認することができます。

<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm000.html>  
.....